SAJ
サバーイ通信
公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバーイは「幸福」を意味するクメール語です
Vol.28
2020.12 月号

カンボジア孤児院 新体制で活動しています

今回は新体制になったため、職員の紹介をさせていただきます。今までは担任制の24時間子どもたちと共に生活をするという仕事内容でしたが、10月から仕事内容をシフト制に変更しました。現在、保母さんたちは食事担当２名、昼担当２名、夜担当２名の計６名で１日の仕事をしてもらい、週に１度の休みをきちんととれるような体制にしています。そして園長と事務所職員、日本人スタッフの合計12名で孤児院の活動を行っています。それぞれの役割を分担しながら、これからもいろんな目線で子どもたちを見守っていきます。

Activity report

支援活動のご報告（指定寄附別）

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院運営支援

「屋根付き物干し場」「棚」の完成

子どもたちに整理整頓を意識してもらうため、男子棟女子棟それぞれに屋根付きの洗濯物干し場・脱衣所のそばに棚を設置しました。雨期には洗濯物が雨でぬれてしまうことが多く、子どもたちの衛生意識も低いため、洗濯物が落ちていても気にならないという状況が長く続いていました。
毎日、子どもたちはシャワーをした後に自分たちで洗濯をします。シャンプーや洗剤等は毎回部屋から持参をしていましたが、常にシャンプーや洗剤等を置ける棚を作りました。更にシャワー室から物干し場までの導線を確保し、洗濯をスムーズに行えるようにしました。子どもたちの整理整頓や衛生に対する意識を高めていきたいと思っています。子どもたちが少しでも快適に過ごせるように努めてまいります。

ふれあいサポートプラン / 食の支援

支援の追加人数決定（お米支援・ふれあいサポートプラン）

前回のサバーイ通信でお伝えした、ふれあいサポートプラン、お米支援の拡大が決定しました。当初、お米支援を必要としている子どもたちは1,000人と予想をしていましたが、調査の結果、ポーサット州、コンポンチュナン州あわせて781人となりました。11月より781人への支援が追加されます。現在、1,004人に支援をしていますが、今後合計1,785人の支援をしていきます。また、食べることに困っている子どもたちは学校に行くことも難しくなってくることを加味しふれあいサポートプランも806人追加し、1,852人への支援をすることが決まりました。

	ふれあいサポートプラン		お米支援	
	学校	人数	学校	人数
ポーサット州	14	1,267	14	1,241
コンポンチュナン州	14	585	14	544
合計	28	1,852	28	1,785

学校運営支援　NDMSC

全国で学校再開延期

10月3日開校予定と教育省から発表されていましたが、延期になりました。
現在、政府関係者の話では今年は開校せず、1月から開校する方向で考えているとのことです。
10月7日、教育大臣からＨＳＣ（※カレッジ卒業試験）中止の発表がありました。ＨＳＣは2020年5月から今まで延期と発表されていたが、コロナ禍で実施が難しいと判断され中止となり、生徒全員は試験をすることなく卒業することが決まりました。各大学受験に使用するＨＳＣの点数は今年度に限り、過去受けたＪＳＣ（中学校卒業試験）とＳＳＣ（高校卒業試験）の成績を足して割った数値を使用するとのことです。これにより「ＮＤＭＳＣ第１期生」は全員卒業試験合格となりました。大学入学試験については未だ延期となっておりますが、引き続き進路確定するまでのサポートは続けていきます。
※補足：バングラデシュの教育制度は小学校５年間、中学校３年間、高校２年間、カレッジ２年間。そのカレッジ卒業試験は日本の高校卒業にあたります。

SAJ Farm Letter

カンボジア豪雨

カンボジアの10月は雨季のピークであり、毎日曇天が続いています。また、中旬には台風の接近に伴い、豪雨が続きました。カンボジアの道は日本の様に排水環境が整っておらず、1時間も立たないうちに国道さえも冠水してしまいます。今年は記録的な雨量でプノンペン都の国道も一時通行止めになったほどです。農場のある村でも一時、道路が冠水してしまいまいした。SAJファームのレモングラスの畑も水が溜まってしまい、僅かですがレモングラスも枯死してしまいました。また、トラクターがぬかるみにハマってしまい、抜け出せなくなってしまうなど作業にも支障が出ました。大雨の数日後にはカンボジアらしい、カラッとした晴天が続き現在は通常に戻りつつあります。

※SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場（農場）として、2010 年にスタートさせた就労支援事業です。

寄附募集継続中

日本本部からのお知らせ
マスクが届きました

・大人用マスク　目標5,000枚
・子ども用マスク　目標2,000枚
・体温計（非接触赤外線のみ）目標100個

サバーイ通信vol26から募集をしていたマスクが少しずつですが集まってきています。手作りのものをはじめ様々な種類のマスクが届きました。ご協力していただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。マスクや体温計はまだまだ足りておりません。今後ともご協力をお願いいたします。

＊マスクは耳が痛くならない洗えるものが必要です。

支援者様メッセージ

株式会社心 代表取締役
足立 裕志様

まずは、ＳＡＪの皆様、また活動に関わる皆様に心から感謝申し上げます。
私は、㈱大幸インターナショナル様からＳＡＪ様の活動を伺ったのですが、活動の理念にとても感銘を受けました。私にも何か出来ないかと相談をさせて頂いたところ、里親制度を知り、現在では二人の里親にならせて頂いております。
ＳＡＪ様の理念にとても共感をさせていただいており、私自身は、まだまだ微力ではございますが、この理念の輪を広げられる一員として責任をもって尽力して参ります。
最後になりましたが、ＳＡＪのスタッフの皆様、日々の活動、誠にありがとうございます。

理事評議員会の報告

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》
■代表理事：渡邉美樹
■理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮
■業務執行理事：青木茂雄
■評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美
■監事：片山進平、清野貴彦

第 210 回理事評議委員会が 2020 年 11 月 24 日に開催となりました。

[決議事項]
議案１：2020 年度建設校の検討と承認
佐藤事務局長より説明がなされ、全員異議なく承認した。

[報告事項]
報告１：孤児院報告　近況報告
報告２：プノンペン事務所報告
報告３：バングラデシュ報告
報告４：SAJ Farm 及び石鹸事業報告
報告５：会計報告
以上につき、佐藤事務局長、青木業務執行理事より説明がなされこれを了承した。

今後の予定　12 月 21 日…理事評議委員会　　2021 年 1 月 25 日…理事評議委員会

代表理事メッセージ　オークンチュラーン

代表理事 渡邉美樹

毎年、秋に孤児院の子どもたちの養い親の裕福度調査を行います。孤児院に入園した時は父親が蒸発していたが、在園中に戻ってきて定職に就き、一定以上の収入を得ているケースもありました。80名という定員があるので、本当に貧しい家庭の子どもを一人でも多く預かるために、養い親が裕福になった子どもは養い親の元に帰すようにしています。
しかし、そのようなケースは多くはなく、ほとんどの子どもの養い親は相変わらず貧しいままです。今年の調査でも、粗末な小舟で水上生活をしている極貧の養い親がいました。SDGsのテーマの一つである「貧困の撲滅」は、まだまだ遠い道のりです。
そんな極貧家庭の子どもたちも、孤児院にいればご飯をお腹いっぱい食べることができます。ベッドで安心して眠れます。学校に通い、塾にも通い、日本語の勉強もできます。夢を持ち、夢を追いかけることができます。
私は、人間形成には「意思」「遺伝」「偶然」「環境」の４つが大切だと考えます。「意思」とは思うこと、好きなこと、やりたいこと。「遺伝」とは親から受け継いだもの。「環境」とは暮らす環境、学ぶ環境、仲間などです。「偶然」とは運です。孤児院の子どもたちは、運に恵まれ、十分な環境で暮らし、「意思」を育むためのカウンセリングも毎月受けています。
子どもたちが幸せな環境で暮らせるのも、里親寄付、孤児院寄付をしてくださる皆様のお蔭であり、心より感謝申し上げます。『孤児院７つの約束』に「常に感謝せよ」とある通り、子どもたちは感謝の気持ちを決して忘れることなく、自身の未来を切り開いて欲しいと切に願っています。

寄附のお願い！
カンボジアで不足

- 大人用マスク　目標5,000枚
- 子ども用マスク　目標2,000枚
- 体温計（非接触赤外線のみ）　目標100個

ご支援いただいた寄附

2020年

10月の寄附金合計		3537,031円
（内訳）	会員会費	1,610,400円
	一般寄附	299,694円
	指定寄附	1,626,937円

募金箱回収ありがとうございました

2020年10月募金箱回収

●土間土間 小岩北口店
樋口　拓之進
●SFPホールディングス（株）
□磯丸水産 大森東口店
□鳥良商店 越谷ツインシティ店
●ワタミ（株）
□「ミライザカ」熊本下通りｱｰｹｰﾄﾞ街店、住道北口店、王子店、東村山駅前店、新越谷駅前店
□「鳥メロ」小倉駅前店
□「和民」名駅４丁目店、三田店　□「坐・和民」錦糸町南口駅前店

募金箱回収してくださった方（順不同、敬称略）　※法人名、団体名は2020年4月現在のものです。
募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額（2001年度～2019年度）	30億 8,223万5,392円
現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数（2020年３月現在）	96,705人
SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計（2006年度～2019年度）	10,527人
建設した学校の合計（2001年度～2019年度）	308校
ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計（2003年度～2019年度）	14,494人
SAJの建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計（2006年度～2019年度）	117,132人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費（年額）1口　12,000円
法人会費（年額）1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで金額も自由な寄附

指定寄附（使い道を指定する寄附）

●学校建設寄附（1）一口寄附（一口 100,000円）、（2）一棟寄附　●ふれあいサポートプラン（一口 12,000円から）
●食の支援寄附（金額自由）　●孤児院運営寄附（金額自由）　●孤児院運営会費（12,000円／月）
●孤児院里親会費（12,000円／月）　●奨学金寄附（金額自由）　●学校運営寄附（バングラデシュ）（金額自由）

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。
https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/

こちらから

会費・寄附金のお振込み

●郵便局：00140-5-345903
●三井住友銀行：蒲田支店（普）4353626　口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。
※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

発行　公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3　TEL：03-5737-2773　FAX：03-5737-2793　Eメール：sajinfo@schoolaidjapan.or.jp　http://www.schoolaidjapan.or.jp

vol28：2020.12月号